

Messianic Passover Haggadah

過越の祭 式次第



2013年3月
シオンとの架け橋

A Bridge between Zion and Japan

■祭の前に家からパン類を取り除く。
(出エジプト 12:15、I コリント 5:7)

1 蠟燭の点火

伝統によれば、イスラエル人がエジプトから贖われたのは、その時代の敬虔な女性のゆえでした。その女性は、その時代の義なる男性たちよりもさらに義人であったというのです。そこで、祭や安息日にあたって、家庭で蠟燭に点火するのは、女性の特権なのです。

バルーフ アター アドナイ
エロヘイヌ メレフ ハオラム
アシェル キドウシャヌ ベミツヴオタヴ
レハドリック ネル シェル ヨム トヴ
誉むべきかな宇宙の王なる主なる神。
あなたは我らを律法で聖別し、祭日の
蠟燭を灯すことをお命じになりました。

子供の祝福

過越の食事セデルが、子供たちの祝福で始まるのは興味深いことです。子供たちは、主の目には大切なものであり、決して付属物ではありません。神の家族の重要部分なのです。だから、イエシュアも様々な機会に小さな子供たちを招かれたのです。

★子供は前に出て祝福を受ける。

父親が息子たちに次のように言って祝福します。

主があなたをエフライムのように、マナセのように、その他の偉人たちのようにされ、愛と聖と謙遜と力と権威によって、心から従順に、我らの主なる神に忠実に仕えますように。

そして、同様に娘を祝福します。主があなたを箴言 31 章の女性のようにされ、心から純粋に、熱意と気品と美しさをもってイエスに仕えた女性たちのようになりすように。

そして、アロンの祝福(民数記 6:24-26)を唱えます。

イヴァレヘハ アドナイ ヴイシュメレハ
ヤエル アドナイ パナヴェレイハ
ヴェホネハ
エッサー アドナイ パナヴェレイハ
ヴェヤセム レハー ジャローム
主があなたを祝福し、あなたを守られますように。主が御顔をあなたに照らし、あなたを恵まれますように。主が御顔をあなたに向け、あなたに平安を与えられますように。

2 カディシュ

▼最初の杯を満たして下さい。

【参考】四つの杯の意味

過越の祭のセデル(儀式的食事)においては、4つの杯が飲まれます。それは古代からの伝統で、神が私たちの民族に与えられた自由の約束(出エジプト 6:6-7)の4つの動詞に対応すると言われます。

それゆえ、イスラエル人に言え。わたしは主である。わたしはあなたがたをエジプトの苦役の下から連れ出し(聖別)、労役から救い出す(救い)。伸ばした腕と大いなるさばきによってあなたがたを贖う(贖い)。わたしはあなたがたを取ってわたしの民とし(完了)、わたしはあなたがたの神となる。・・・

「私は連れ出す」神の目的は贖いであり、私たちにとっては聖別です。さらに神に似たものとなり、完全に神の意思に従って人生を生きるためなのです。

神がこのペサハの祭を私たちに与え、贖い主(メシア)によりエジプトの奴隷状態から解放し、人々への計り知れない愛を示し、イエシュアをこの世につかわし、私たちを罪の奴隷状態から解放されたのです。ヘブライ語でエジプトを意味する「ミツライム」は、「狭い地」という意味なのです。

▼杯を持ち上げます

バルーフ アター
アドナイ エロヘ
イヌ メルフ ハオ
ラム ボレー プリ
ー ハガフェン
ほむべきかな我
らの主なる神、宇
宙の王。あなたは
ぶどうの実を創造
されました。



● 1杯目を飲み干す (残さないようにして下さい)

一般的な感謝

この祝福(祝祷)は、1年を通じて何かを始める時に唱えられます。たとえば、祭の始まりや、何かの果物をその年に初めて食べるとき、新しい家を購入して入居する時、新しい服を購入して最初に着る時などです。

神の言葉は教えています。「いつでも、すべてのことについて、私たちの主イエス・キリストの名によって父なる神に感謝しなさい。」(エペソ5:20)つまり、何でも「当たり前」と考えてはいけないという、この原則はセデルにも取り入れられています。

バルーフ アター アドナイ エロヘイ
ヌ メルフ ハオラム シェヘハイヌ
ヴェキマヌ ヴェヒギアヌ
レズマン ハゼ

ほむべきかな我らの主なる神、宇宙の王。あなたは私たちを生かし、命を保ってこの季節まで導いて下さいました。

※神への感謝を示すために、賛美と礼拝の歌を歌っても良いでしょう。なお、一般的な式次第では、ここで手洗いが入りますが、後でも手洗いがあるので省略します。

3 カルパス

▼ パセリの血を持ち上げる

このパセリはヒソプの象徴です。それは、イスラエル人の贖われる夜に、死の天使から家を守るために家の玄関の柱に血を塗るために用いられたものです。

そして、パセリを塩水に浸します。塩水は、歴史を通じて流されたユダヤ民族の涙を象徴します。しかしそれは、私たちの痛みと苦しみ、罪と恥を負われたイエシュアの犠牲の象徴でもあります(イザヤ 53 章)。

ヒソプの一束を取って、鉢の中の血に浸し、その鉢の中の血をかもいと二本の門柱につけなさい。朝まで、だれも家の戸口から外に出るはならない。(出エジプト 12:22)

バルーフ アター アドナイ エロヘイ
ヌ メレフ ハオラム ボレー プリー
ハアダマー
ほむべきかな我らの主なる神、宇宙の王。あなたは地の実を創造されました。

●パセリを塩水に二度ひたしてから食べます。

血を塗ることにより、イスラエルは死の天使から守られ、神とイスラエルの契約は確認され(出エジプト 24:8)ました。それは神の契約の民に対する過去・現在・未来にわたる忠実を示すものです。それはイエシュアを通じて私たちに及び、私たちは死から命へ、闇から光へ、絶望から希望へ、悲しみから喜びへ、希望の無い人生から豊かな人生へと導いて下さるのです。

イエシュアはユダヤ人にも異邦人にも過越の小羊(Ⅰコリント 5:7)であり、また、宿営の外で焼かれた罪の犠牲(ヘブライ 13:11-13)です。彼は神の小羊であり、エルサレムの門外で私たちの罪のために血を流された「苦難の僕」。それは神のもとに来て、彼をメシア(救い主)として受け入れる全ての人のためなのです。

イエシュアはまた、私たちの「和解の犠牲」でもあります。彼が十字架につけられた、まさにその時「ペサヒーム シェラヌ」つまり、過越のための和解の犠牲が捧げられていたのです(ヨハネ 18:28)。私たちのための平和(和解)となられたイエシュアだけが、真の和解をもたらすことができるのであり、それは彼の尊い血が流されたことによるのです。(ヨハネ 14:6)

続きはセミナーでお楽しみください。